

「重信町誌」を発行いたしました。

以来一〇年余、本町は恵まれた自然環境のもと、産業・経済・教育文化の調和のとれた施策により、文化田園都市として着実な発展を続けてまいりました。ときあたかも昭和六一年は町制施行三〇周年の記念すべき年にあたります。

この意義深い年にあたり、さきに刊行しております町誌を補正するとともに、昭和五〇年発刊以降の町政発展の歩みを補完し、ここに町制三〇周年の記念事業としてさらに充実した『新重信町誌』を刊行いたしました。

この町誌がより多くの町民に読まれることによって、郷土重信町への理解と愛情がいつそう深められ、「うるおいと活力のあるまちづくり」の道しるべともなり、本町がますます発展することを祈念し、発刊のことばといたします。

昭和六三年三月

重信町長 東村 旭

目次

口 絵		
発刊のことば	重信町長 東村 旭	12

第一部 自然環境

第一章 位置・地形・面積	3	
一 位 置	3	
二 地 形	4	
(一) 高縄山地	4	
(二) 石鎚山地	4	
(三) 平坦部	5	
三 面 積	8	
第二章 地 質	10	
一 三波川結晶片岩類	10	
二 領家変成岩類	10	
三 領家花崗岩類	10	
(一) 植林地帯	29	
(二) 原生林	30	
(三) 皿ヶ嶺縦走路	31	
(四) 龍神平の湿原	32	
(五) 昆 虫	32	
(六) その他の動物	33	
一一 福見連峰	33	
(一) 植 物	34	
(二) 動 物	35	
第三章 気 候	14	
第四章 人 口	19	
第五章 動 植 物	29	
一 皿ヶ嶺	29	
二 石鎚第三系	13	
三 第四系	13	
四 和泉層群	12	

三	その他	36
四	天然記念物	37
(一)	ビヤクシン	37
(二)	オキチモズク	37
(三)	ベニモンカラスシジミ	39

第六章 重信川

一	重信川の現況	40
(一)	流域状況	40
(二)	地形	40
(三)	地質	42
(四)	利水	43
二	重信川流路の変遷と治水	44
(一)	第一期	45
(二)	第二期	45
(三)	第三期	46
(四)	足立重信の伊予川改修	47
(五)	藩政時代の重信川	49
(六)	明治期の重信川	50
(七)	大正期の治水	52

(八)	昭和期の治水	54
(九)	昭和一八、二〇年の水害	54
(十)	戦後の治水	56
三	重信川河川環境整備	63
四	重信川の愛護	65

第二部 歴史

第一章 遺跡をたずねて(原始時代)

一	縄文時代(重信町の黎明)	70
二	弥生時代	74
三	古墳時代	94

第二章 古代から中世

一	久米郡と浮穴郡	103
(一)	国郡制度	103
(二)	久米郡	104
(三)	浮穴郡の成立	105
(四)	浮嶋神社の授階	107
二	伽藍薫跡と拝志廃寺	108
三	中世の史話	115

第三章 封建治下のあゆみ(近世)

一	農村と農民生活	148
(一)	江戸時代の村	148
(二)	農民の生活	154
二	松山藩の検地と村高	160
(一)	農民の負担	161
(二)	定免制	162
(三)	新田開発	166
(四)	地坪	169
三	牛淵村の村移り	173
四	享保の大飢饉	176
五	長州征伐と郷土	178
第四章	明治維新から町村制実施まで	182
一	明治維新と松山藩	182

第五章 農業水利小史—その歴史と慣行—

一	重信川と重信町	197
二	北吉井地区の水利	201
(一)	菑浦堰用水	201
(二)	樋口・志津川・西岡三地区の水利	213
三	南吉井地区の水利	229
(一)	見奈良地区の水利	229
(二)	見奈良の余水と田窪	234
(三)	田窪・牛淵上井手地区の水利	235
(四)	牛淵下井手・南野田・北野田地区の水利	243
四	拝志地区の水利	257
(一)	上林・下林上組の水利	258
(二)	下林下組および上村の水利	260
五	水利現況	275

第三部 行政・財政

第一章 町村制の施行から三村合併まで……………285

一 町村制の施行と三カ村の行政……………285

二 北吉井村……………294

三 南吉井村……………306

四 拜志村……………316

五 旧三村の自治関係者……………327

六 旧村財政の推移……………354

第二章 重信町三〇年のあゆみ……………359

一 重信町の誕生……………359

(一) 町村合併促進法の公布……………359

(二) 重信町誕生の経過……………361

(三) 合併促進協議会のあしどり……………362

(四) 合併祝賀会……………372

二 新町建設計画……………375

(一) 新町建設の基本構想……………376

(二) 部門別構想……………377

三 新町基礎期(第一期町政)……………379

(一) 町長・町議会議員選挙……………379

(二) 第一期高須賀町政のスタート……………380

(三) 町政の概要……………381

四 新町建設計画推進期(第二期町政)……………388

(一) 第二期町政の課題……………388

(二) 町政の概要……………389

五 近代的町づくりの推進(第三期町政)……………402

(一) 第三期町政の課題……………402

(二) 町政の概要……………403

六 地域開発と福祉の増進(第四期町政)……………417

(一) 第四期町政の概要……………417

(二) 愛大医学部の誘致……………419

(三) 重信中学校の改築整備……………422

(四) 都市計画……………422

(五) 慰霊碑の建立……………423

(六) 第四期町政年表……………424

七 第五期町政……………426

(一) 町政の概要……………426

(二) 町制施行二〇周年記念事業……………429

(三) 第五期町政年表……………432

八 第六期町政……………435

(一) 継承と展開……………436

(二) 施策の概要……………437

(三) 第六期町政年表……………446

九 第七期町政……………449

(一) うるおいと安らぎの町づくり……………449

(二) 施策の概要……………451

(三) 第七期町政年表……………463

一〇 第八期町政……………466

(一) 躍進の三〇年からさらに飛躍を……………467

(二) 施策の概要……………468

(三) 行政改革大綱の策定……………475

(四) 町制施行三〇周年記念事業……………477

(五) 第八期町政年表……………481

第三章 行政と議会……………483

一 町歴代三役……………483

二 行政事務機構の変遷……………484

三 町議会……………486

(一) 年次別町議会議員……………487

(二) 歴代議長・副議長……………490

四 各種委員会……………491

第四章 財政……………493

一 町財政の推移……………493

二 健全財政の維持……………497

第五章 選挙……………499

一 選挙制度の変遷……………499

二 有権者の推移……………499

三 選挙の概要……………500

(一) 衆議院議員選挙……………500

(二) 参議院議員選挙……………503

(三) 都道府県議会議員選挙……………504

(四) 町議会議員選挙……………506

(五) 県知事選挙……………507

(六) 町長選挙……………507

第六章 都市計画……………510

一 新都市計画法の施行と本町……………510

二 下水道事業……………511

三	重信川緑地公園	513
四	国土調査	514
第七章	広 報	516
一	広報紙の発行	517
第八章	名 誉 町 民	517
第九章	官公署・施設等	519
第四部	教 育	
第一章	教育の概要	525
一	寺小屋	525
二	近代教育の創始	527
三	初等教育の整備	531
四	義務教育制度の確立	533
五	国民学校と戦時の教育	534
六	戦後の教育	535
第二章	学 校 教 育	542
一	北吉井小学校	542
二	山之内小学校	550
三	南吉井小学校	552

四	拜志小学校	560
五	上林小学校	566
六	重信中学校	571
七	山之内中学校	577
八	拜志中学校	577
九	愛媛県立第一養護学校	578
一〇	愛媛県立第二養護学校	580
一一	愛媛県立第三養護学校	582
一二	愛媛県立東温高等学校	584
一三	愛媛大学医学部	590
一四	幼稚園	594
(一)	重信幼稚園	594
(二)	北吉井幼稚園	596
(三)	仲よし幼稚園	597
(四)	見奈良のぞみ幼稚園	598
一五	国立療養所愛媛病院附属看護学校	599
一六	学校給食センター	600
第三章	社 会 教 育	602
一	戦前の社会教育	602

(一)	青年会の設立	602
(二)	勤労青年の教育	604
(三)	青年団の活動	609
四	戦前の婦人会	611
二	戦後の社会教育	616
(一)	公民館	616
(二)	町民会館	621
(三)	P T A	626
四	婦人会	627
(五)	青年団	634
(六)	文化協会	639
(七)	図書館・歴史民俗資料館	641
(八)	同和教育	644
(九)	少年少女合唱団	647
(一〇)	重信史談会	647
(一一)	文芸・美術活動等	648
第一章	農 業	657

一	農政と農業技術の発達(戦前)	657
二	小作争議と農地改革	667
(一)	明治期の地主・小作関係	667
(二)	米穀検査実施の反対	668
(三)	小作人組合	669
四	小作争議	672
(五)	自作農創設維持	673
(六)	農地改革	675
(七)	農地改革関係者	680
三	戦後の農業	682
(一)	食糧増産と農村の民主化	682
(二)	新しい村づくり事業	683
(三)	農業構造改善事業と畑地灌漑	685
(四)	県営重信地区早害対策事業	689
(五)	道前道後水利開発事業	690
(六)	松山市との水利紛争	693
(七)	米の生産調整	695
(八)	水田利用再編対策事業	696
(九)	重信町農業の実態と展望	699

第五部 産業・経済

(一) 合併後の農業委員会委員……………	711
四 蔬菜と特用作物……………	715
(一) 蔬菜、特用作物の導入……………	715
(二) 紫雲英……………	716
(三) 玉葱・里芋……………	717
(四) 西瓜……………	718
(五) トマト……………	719
(六) 苺……………	720
(七) 煙草……………	723
(八) 花卉……………	725
五 果樹……………	728
(一) 果樹栽培の起源……………	728
(二) 拜志地区……………	728
(三) 南吉井地区……………	732
(四) 北吉井地区……………	733
(五) 果樹の現況……………	734
六 養蚕……………	736
七 畜産……………	740
(一) 牛・馬……………	740

(二) 酪農……………	744
(三) 鶏……………	746
(四) その他……………	748
八 重信町農業振興の基本構想……………	749
(一) 農業生産の構想……………	750
(二) 農業経営の構想……………	752
(三) 農業基盤整備の構想……………	752
(四) 生産施設と流通体系……………	752
九 農業振興事業とその概要……………	755
(一) 土地改良事業と土地改良区……………	755
(二) 農村地域定住促進対策事業……………	758
(三) 新地域農業生産総合振興事業……………	763
(四) 農村総合整備モデル事業……………	763
(五) 農業近代化資金制度……………	765
一〇 農業協同組合……………	765
(一) 重信町農業協同組合……………	766
(二) 北吉井農業協同組合……………	770
(三) 南吉井農業協同組合……………	771
(四) 拜志農業協同組合……………	771

(五) 温泉青果農業協同組合北吉井・拜志支部……………	772
第二章 林業……………	775
一 藩政時代……………	775
二 明治前期……………	781
三 明治後期……………	784
四 大正期の林業……………	785
(一) 拜志村……………	785
(二) 北吉井村……………	787
五 村有林の造林……………	788
(一) 拜志村有林の植林事業……………	788
(二) 北吉井村の植林事業……………	791
六 民有林と戦後の林業……………	794
七 町有林の変遷……………	796
八 林業の現況……………	797
九 林業団体……………	800
(一) 重信町森林組合……………	800
(二) 北吉井森林組合……………	802
(三) 拜志森林組合……………	803
(四) 木炭組合……………	804

(五) 松山市・重信町共有山林組合……………	805
一〇 林業構造改善事業……………	807
一一 松くい虫防除対策……………	812
一二 愛媛県緑化センター……………	812
第三章 商工業……………	815
一 戦前の商工業……………	815
(一) 藩政期……………	815
(二) 明治以後……………	817
二 戦後の商業……………	822
三 重信町商業の現況……………	826
四 戦後の工業……………	830
五 金融……………	835
(一) 頼母子……………	835
(二) 銀行と信用組合……………	837
六 重信町商工会……………	839
七 重信町の融資制度……………	842

第六章 交通・通信……………	845
第一章 交通・運搬……………	845

一	明治期の交通	845
二	大正期の交通	847
三	昭和期の交通	848
(一)	バス	848
(二)	自動車	850
四	道路	852
(一)	明治以前の道路	853
(二)	大正以後の道路	854
(三)	戦後の道路	857
五	橋	862
六	鉄道	867
(一)	横河原線の開通	867
(二)	横河原線の変遷	869
(三)	横河原線の電化	871
(四)	見奈良駅付近の今昔	872
第二章	通信・放送	876
一	郵便	876
(一)	重信郵便局	877
(二)	横河原郵便局	879

(三)	拜志郵便局	880
(四)	愛媛大学病院内郵便局	880
二	電 話	880
三	放 送	883
四	電気の導入	886
第七部	厚生・福祉	
第一章	保健・衛生	891
一	明治・大正期の衛生	891
二	避病舎	897
三	国民健康保険事業	899
(一)	戦前の国民健康保険組合	899
(二)	戦後の国民健康保険	900
(三)	新町発足と国民健康保険の再開	900
四	医療機関の変遷	903
(一)	開業医	904
(二)	国立療養所愛媛病院	908
(三)	愛媛大学医学部附属病院	912
五	重信町共同保健計画	915

(一)	蠅と蚊をなくす運動	915
(二)	上林地区診断	916
(三)	共同保健計画推進協議会	917
(四)	母子衛生	919
(五)	成人病予防	920
六	環境衛生	921
(一)	火葬場	921
(二)	墓 地	922
(三)	塵あい焼却場	926
(四)	し尿処理	928
(五)	野犬対策	930
(六)	上水道	930
第二章	社会福祉	939
一	民生事業制度の沿革	940
(一)	戦前の民生事業制度	940
(二)	戦後の民生事業制度	943
(三)	社会福祉協議会	943
二	生活保護	946
(一)	生活保護状況	946

(二)	民生委員	946
三	児童福祉	952
(一)	保育所	952
(二)	児童遊園地	959
(三)	重信町青少年補導センター	962
(四)	各種手当及び医療費助成制度	964
四	母子福祉	965
五	老人福祉	966
(一)	敬老会	966
(二)	敬老年金と医療援護	968
(三)	老人クラブ	970
(四)	老人福祉センター	973
(五)	松山地区広域市町村圏事業	974
六	身体障害者福祉	975
七	精神薄弱者福祉	976
(一)	愛媛県立重信清愛園	976
(二)	精神薄弱児(者)福祉施設「重信なつめ寮」	978
八	戦争犠牲者の援護	979
九	国民年金	981

第八部 治安・消防・兵事

第一章 警察・法務

(一) 国民年金法の施行と内容……………982

(二) 本町の経過と現況……………982

(三) 新しい年金制度……………983

一〇 地域改善事業……………984

一一 交通災害共済……………985

一二 町営住宅……………985

一三 民間活動……………986

第二章 警察・法務……………995

一 概要……………995

二 派出所・駐在所の沿革……………996

(一) 重信警察官派出所……………996

(二) 北吉井駐在所……………997

(三) 南吉井駐在所……………997

(四) 拜志駐在所……………997

三 松山刑務所……………998

第二章 消防……………999

一 明治期までの消防……………999

二 消防組の発足……………1000

(一) 北吉井村消防組……………1000

(二) 南吉井村消防組……………1001

(三) 拜志村消防組……………1001

三 警防団……………1002

四 消防団……………1004

(一) 消防装備・設備の充実……………1004

(二) 重信町消防団……………1004

(三) 水口第一部長殉職……………1005

(四) 消防団受賞……………1007

(五) 消防団の現況……………1007

五 常備消防……………1008

(一) 政令指定と常備消防……………1008

(二) 東温消防本部・消防署の活動状況……………1010

第三章 兵 事……………1015

一 徴兵制……………1015

二 日清・日露戦争と出兵……………1016

三 シベリア出兵……………1018

四 昭和期の兵事……………1018

第九部 宗 教

第一章 神 道

(一) 支那事変……………1018

(二) 太平洋戦争と郷土……………1019

(三) 決戦下の農村……………1020

五 重信町戦没者名簿……………1023

一 神 社……………1057

天満神社……………岡八幡神社

三島神社……………客八幡神社

水天宮……………北吉井護国神社

総東風神社……………稲荷五社神社

龍神社……………徳威三嶋宮

素鷲神社……………飛梅天神社

浮嶋神社……………宇気洲神社

素鷲神社……………拜志神社

城山天満宮……………三奈良神社

築島神社……………片山神社

船川神社……………大和神社

第二章 仏 教

二 教派神道……………1073

太古宇宙光照神道……………天理教吉伊分教会

天理教北吉井分教会……………天理教拜志分教会

天理教東温分教会……………黒住教吉井教会

一 寺 院……………1077

伝宗寺……………護国院

大安寺……………法蓮寺

浄土寺……………西光寺

道音寺……………香積寺

大蓮寺……………法寿院

慈光寺……………和田靈堂

西林寺……………妙宣寺

福見寺……………

第三章 キリスト教

愛媛聖園基督教会……………1090

見奈良キリスト教会……………

第一〇部 文化財・観光

第一章 文化財

一 国指定文化財	1095
(一) ビヤクシン	1095
二 愛媛県指定文化財	1095
(一) ベニモンカラスジミ	1095
(二) 木造聖観音菩薩立像	1095
三 町指定文化財	1096
(一) 層塔及び五輪塔群	1096
(二) 経塚	1098
(三) 五十八社大明神の雨乞い御面と楽頭	1099
(四) 鼻高面	1100
(五) 錢壺及び古銭	1101
(六) 鉄錘	1102
(七) 大ツツジ	1103
(八) 漣痕化石	1104
(九) 三輪田米山筆「三十六歌仙図」	1106
四 その他	1107

(一) 臥竜松

(一) 臥竜松	1107
(二) 山之内のアカガシ	1107
(三) 山之内のシラカシ	1107
(四) その他の巨木	1108
(五) 森伊豆守五輪塔	1109
(六) 雨乞い御面	1109
(七) 野田天神	1111
(八) 民家「野中家」と「大西家図面」	1114
(九) 上林峠の千人塚	1116
(一〇) 築島神社の黒松	1116
五 窯跡	1116
(一) 伽藍窯遺跡	1116
(二) 西ノ岡窯	1117
(三) 志津川窯	1127
第二章 観光	1131
一 皿ヶ嶺コース	1131
二 重信川コース	1134
三 古城跡	1137
(一) 岩伽羅城	1137

第一部 民俗

第一章 衣食住

一 衣服と身じまい	1149
二 食生活	1152
三 住居	1156
第二章 族制と村落社会	1159
一 家族	1159
二 族縁呼称	1160
三 同族神と祭祀仲間	1162
四 村落社会	1163
(一) 村の組織	1163
(二) 組づきあい	1164
(三) 吉山城(由井城)	1140
(四) 衣掛城	1140
(五) 烏ヶ嶽城	1142
(六) 麓城	1142
(七) 花山城	1143
(八) 重信町観光協会	1144

第四章 人の一生(通過儀礼)

(三) 村の交際	1166
五 年齢集団と信仰集団	1168
(一) 年齢集団	1168
(二) 信仰集団	1173
第三章 年中行事	1175
一 正月行事	1175
二 春から夏の行事	1184
三 盆行事	1189
四 秋から冬の行事	1192
一 産育	1197
二 婚姻	1199
三 厄年・年祝い	1200
四 葬儀	1200
第五章 生業	1204
一 農耕	1204
(一) 稲作	1205
(二) 麦作	1213
(三) 農耕儀礼	1215

第一部 自然環境

二 畜産	1217
三 製糸	1220
四 川魚漁法	1222
第六章 民俗芸能	1226
一 神楽	1226
二 獅子舞	1227
三 浮嶋神社のねり行事	1231
四 楽頭	1232
五 和田靈神の盆踊り	1236
六 上林の盆踊り	1239
七 下林の「かめのこ」「つき」	1241
第七章 伝説	1242
一 木の伝説	1242
二 石の伝説	1246
三 塚の伝説	1250
四 淵の伝説	1256
五 お宮とお寺などの伝説	1257
六 お化けの話	1265
七 その他の伝説	1269

第二部 人物小伝

人物小伝	1277	
武智六平・伝次郎	渡部五郎右衛門	渡部善次郎
仙波弥助	野村良哲	相原直温
志津川村の三義人	池川次太郎	東村縫治郎
権右衛門・五郎助	天野知規	谷口熊之助
孝子半六	豊島要三郎	野中親三郎
久左衛門	東俊造	小南安重
孝子金松	渡部新五郎	和田伍郎
堯音和尚	東澤衛	末光元広
武智彦八	重松寛勝	牧茂市郎
橋並右衛門	大西良実	長谷川武次郎
西川奎右衛門	山内忠平	渡部亀太郎
小山九左衛門朝真	浅井平三郎	森岸子
戒能弁右衛門	相原庫五郎	東令三郎
付表		相原正一郎
郷土略年表	1301	